

闘虎

No. 65 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
令和4年 冬季号



櫻井つぐみが世界王者の力を示す！

天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月16～19日、駒沢オリンピック記念公園体育館において、「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。今年度の世界選手権53kg級で優勝している櫻井つぐみ（育英大）は、57kg級に階級を上げて臨んだ。櫻井は、準々決勝、準決勝と立て続けにテクニカルフォールで勝利し、決勝進出。決勝の相手は、昨年度全日本、今年度全日本選抜の同級覇者に君臨していた南條早映選手（至学館大学）。櫻井は、2-1でリードされる苦しい展開だったが、残り20秒を切ったところで、渾身のタックルに入り、これが4ポイントとなる豪快な逆転技となり、5-2で勝利。世界王者の力と勝負強さが示された試合だった。

◆発行/群馬県レスリング協会会長 金子 博 ◆編集/群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第65回

富岡レスリングクラブ



教わった技決まる喜び！
仲間がたくさんできた！

富岡小野小 6年 佐藤 碧羽

ぼくがレスリングを始めたのは、チビ子レスリングが創設された時です。ぼくのおじいちゃんも、お父さんもレスリング選手でした。まだ保育園児で、できることは少なかつたのですが、高校生のお兄さんやお姉さんが優しく教えてくれたり、たくさん遊んでくださいました。できるまで時間はかかりましたが、マット運動ができるようになったり、レスリングの技を覚えて、スパーリングでその技が決まった時は、とてもうれしかったです。補強も一生懸命取り組み、苦しい時もあったけど、仲間や先生、お父さんやお母さんが応援してくれたので、頑張れました。運動があまり得意ではないぼくも、6年生まで続けてこられたのは、先生や皆さんが優しく指導してくださったからです。コロナ前は、毎年みんなでパーベキューをしました。学校や学年の違う仲間がたくさんできて、とても楽しかったです。試合は怖くて出なかつたけれど、レスリングを通して体と心を鍛えることができました。レスリングをやって、良かったです。

■練習日時 毎週日曜日・午前10時
■練習会場 富岡実業高校格技場

SCHEDULE

- 全国高校選抜大会
3月27日(日)～29日(火)
新潟東総合スポーツセンター
- JOC杯ジュニア
クイーンズカップ
4月9日(土)・10日(日)
駒沢公園体育館
- JOC杯
全日本ジュニア選手権
4月23日(土)・24日(日)
横浜武道館
- 群馬県高校総体
5月6日(金)～8日(日)
館林市民体育館
- 館林市民春季大会
5月14日(土)
ダノン城沼アリーナ



森田 武雄さん(館林市・79歳)

レスラーファクトリー

「思い出の一葉」

□この写真は、昭和39年11月、私が明治大学4年生の時に館林ヘルスセンターで開かれた、館林高校レスリング部創部十五周年記念祝賀会での一枚です。前から3列目の左から2番目が私です。この時、小幡洋次郎さん(1列目右から4人目)の東京オリンピック優勝祝賀会も兼ねていたと思います。1列目中央で記念楯を持っているのが、群馬県レスリング協会初代会長で、館林高校レスリング部を創部した正田文男先生、左が東京五輪日本チームのグレコローマンコーチを務めたトルコのリザ・ドーガンです。1列目一番左が、県協会2代目会長の兵藤三郎さん、その隣が館高2代目監督の久保田利重先生です。昨年、館高レスリング部七十周年でしたが、何もできなかったもので、9年後の八十周年とぐんま国体は、私は米寿ですが、それまで元気にいられたらなと思いますね。

HERO'S IN GUNMA



加藤 航平 選手 (おおたスポーツアカデミー)

1週間前の全中選抜では、力を出せずにあっさり負けてしまったので、千代田近接大会では、力を出し切って、いい試合をしようと思いましたが、優勝できるとは思いませんでした。優勝した瞬間は、素直にうれしかったです。決勝の相手は、全中選抜4強の選手と聞いたのは、試合が終わってからです。少し自信につながりました。高校での目標はインターハイ、国体で優勝することです。

- (明和) ③石塚佑慎(OSA)
- ◇68kg級 ①加藤航平(OSA)
- ◇75kg級 ②鳥居輪太郎(PALAI STRA)
- ③塩田敦也(明和) ◇85kg級 ③丹山世柳(OSA)
- [中学生女子] ◇40kg級 ②青木優香(PALAI STRA) ◇50kg級 ③村田悠夏(邑楽) ◇55kg級 ③澤井舞綾(OSA) ◇60kg級 ③村田悠芽夏(邑楽) ◇68kg級 ③梅澤野々花(PALAI STRA)
- [小学6年] ◇61kg級 ②柴木蓮(上州) ③谷津琳太郎(上州) ◇61kg級 ②和田三志郎(館林)
- [5~6年女子] ◇40kg級 ③萩本湊愛(邑楽) ◇45kg級 ②山田りん(PALAI STRA) ◇51kg級 ③福田じな(邑楽)
- [小学5年] ◇47kg級 ③川島颯弥

- (千代田) ③萩原健太(OSA)
- ◇54kg級 ②武田志成(館林) ③嶋崎航太(明和)
- [小学4年] ◇47kg級 ②柴木丈(上州) ◇47kg級 ③武藤眺汰(館林)
- ◇47kg級 ③武藤眺汰(館林)
- [小学3~4年女子] ◇24kg級 ③稲田佳恭(明和) ◇27kg級 ③佐藤心美(大間々) ◇31kg級 ②平崎菜結(PALAI STRA) ③天田陽葵(大間々) ◇35kg級 ③鳥居希子(PALAI STRA) ③山本凜(同)
- ◇41kg級 ①苅谷萌々香(OSA) ③石井愛加里(上州) ◇49kg級 ①小堀ひな子(PALAI STRA) ②開田穂花(上州)
- [小学3年] ◇24kg級 ③岩尾青龍(上州) ◇40kg級 ③新井綾太(千代田)

林宝来(館商工) V! 優勝者は6校に分散!

JOC杯群馬県予選会

12月25日、今年度新築された市立太田高校武道館において「2022 JOC杯ジュニアオリンピックカップ群馬県予選会」が行われた。今年度は、関東予選は中止となり、県予選で第1位となった選手がJOC出場権を獲得することになった。

優勝者は次のとおり。

- [フリースタイル] ◇45kg級 林宝来(館林商工) ◇48kg級 小山亮俊(大泉) ◇51kg級 坂庭圭(市太田) ◇55kg級 山口想成(館林)
- ◇60kg級 佐々木海斗(市太田)



全試合Tフォール勝利の苅谷萌々香

- [小学1~2年] ◇27kg級 ①小林桂士(PALAI STRA)

青木優香が牙城守る! 群馬唯一の銅メダル!

全国中学選抜選手権

11月27~28日、駒沢屋内球技場において「第12回全国中学選抜レスリング選手権大会」が行われた。群馬選手が全体的に振るわぬ中、パレイストラの青木優香が、一人気を吐き、準決勝まで勝ち進み、準決勝では惜



第3位入賞を果たした青木優香

敗したが、3位決定戦で勝利し、県内唯一の銅メダルを獲得した。
【女子】◇38kg級 ③青木優香(PALAI STRA)

元世界王者を倒すも決勝で痛い不覚!

天皇杯全日本選手権

(表紙に続き)全日本選手権で優勝を果たした櫻井つぐみの育英大学からの、もう一人の優勝候補、石井亜海(OSA)―安部学院―育英大学(1年)は、一昨年の全日本選手権で、日本女子レスリング史上最年少のチャンピオンとなり、大学進学後、ケガを乗り越えて、早くもインカレで復活、堂々の一年生王者に。今大会は、「優勝確率100%」と柳川美磨監督が推すほどの「鉄板」ぶりだった。初戦は、元世界選手権王者の自衛隊選手。これを堂々退け、決勝へ。



決勝戦、終始圧倒して優勝は目前だった!

決勝戦は、前半、4-0と圧倒していたが、後半、ラスト1分を切ったから、2度バックに回られ、4-4の同点ながら、ラストポイントで敗戦。2年ぶりの優勝はならなかった。しかし、1階級上げた中で、元世界王者との試合も決勝戦も、攻め続けたのは石井で、今後の巻き返しについては、何ら心配のない、むしろ、さらなる飛躍の起爆剤となるような敗戦だった。

また、小林奏音(邑楽 jr)市太田一専修大3年) vs 藤倉優花(邑楽 jr―安部学院3年)の「邑楽ジュニア対決」が1回戦で実現した。山本悟 vs 松本篤史のような「群馬県対決」なら、時折りあるが、県内の同じクラブ同士は、県史上初。試合は、先輩の意地を見せて、小林が辛勝した。今大会は、阿部光(中央大)、玉岡颯斗(早稲田大)ら男子は7選手、女子は宮原乙葉(育英大)、杉山絢海(東京農大)ら12選手が出場した。4位以内入賞者は次のとおり。

- [女子] ◇53kg級 ④下野佑実(育英大) ◇55kg級 ④嶋田英莉(育英大) ◇57kg級 ①櫻井つぐみ(育英大) ◇65kg級 ④平井かえで(育英大) ◇68kg級 ②石井亜海(育英大) ◇72kg級 ④小林奏音(専大)

加藤航平熱戦の末V! 全中選抜4強を破る!

千代田近接大会

12月5日、千代田町総合体育館において「第27回千代田町近接少年少女レスリング大会」が行われた。コロナ禍の中、主催側による徹底した感染予防対策を講じ、平常時と同じ6面マットの90人越えの大規模な大会となった。その中で、加藤航平(OSA)が、一週前に行われた全中選抜4強の選手を撃破し優勝。中学生では、県内唯一の優勝者となった。

- 県内選手入賞者は、次のとおり。
【中学生男子】◇38kg級 ③橋口右京(明和) ◇57kg級 ③松井礼士(OSA) ◇62kg級 ③川端健太



小林奏音vs藤倉優花の邑楽ジュニア対決!

なでしこGUNMAの

レスクイーン



PARAI STRA 梅澤 野々花さん(中1)

ぐんまスパーキッズのチラシを見て、レスリングに興味を持ち、パレイストラに入りました。自分が試合をしているときは応援してくれたり、勝ったときは一緒に喜んでくれる、そこがレスリングの良い所だと思います。岐阜県の標高の高い所で合宿をして走らされ、その後の朝食で、大盛りご飯を食べさせられたことや、自分より体の大きい子と対戦して力負けしてしまったなどが、苦しかった思い出です。ライバルはOSAの澤井舞綾さん。尊敬している選手は、世界チャンピオンの櫻井つぐみ選手です。中3までに、今の自分より強くなることが目標です。